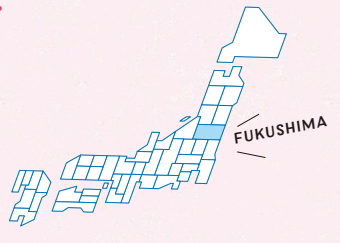




第9回 公害資料館 連携フォーラム in 福島



災害を伝え、
未来をつくる

私たちはなぜ災害の経験を継承しようとするのでしょうか。被害は避けられないものではなく、災害への社会的対応によって、軽減したり回避することもできます。私たちはどのような未来をめざすのか、公害や東日本大震災などの経験から学び、ともに考えたいと思います。

2023
12/16-17
土 日

場所

福島大学L講義棟

福島県福島市金谷川1

基調講演

当事者感覚獲得のために
— 災いの記憶を語り継ぐ
意義とその伝え方—



やまうち ひろやす
山内 宏泰さん
(リアス・アーク美術館館長)

参加費

- フォーラム参加費
一般: 3,000 円(資料集あり)
公害資料館ネットワーク会員: 2,000 円(資料集あり)
学生: 無料(申込必要、資料集が必要な場合は別途購入)
- 現地見学(定員20人・申込先着順): 5,000 円
- 交流会(定員50人・申込先着順): 3,000 円

スケジュール

12/16
(土)

- 8:30~14:30 現地見学
(福島県いわき湯本温泉「古滝屋」出発、
福島大学帰着)
- 15:00~17:00 開会、基調講演
- 17:30~19:00 交流会

12/17
(日)

- 9:30~12:00 分科会
- 12:15~13:15 ランチミーティング
- 13:30~15:00 全体会

無料(申込不要)

基調講演のみ
YouTube で
ライブ配信をします



[https://www.youtube.com/
@kougai_nw](https://www.youtube.com/@kougai_nw)

地球環境基金助成事業

主催: 公害資料館ネットワーク(代表幹事 西村仁志(広島修道大学))
第9回公害資料館連携フォーラム in 福島実行委員会(実行委員長 山川充夫(福島大学名誉教授)、副実行委員長 後藤忍(福島大学))
共催: 一般社団法人日本環境教育学会、公益社団法人日本環境教育フォーラム
後援: 福島大学、環境省、福島県、ESD活動支援センター、東北地方ESD活動支援センター、全日本博物館学会、日本アーカイブズ学会、
日本展示学会、原子力市民委員会、河北新報社、福島民報社、福島民友新聞社
協力: 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)、福島県立博物館

● 現地見学

12/16 (土) 大熊未来塾による大熊町フィールドワーク

原子力災害の被災地では、いまでも避難指示が続いている地域があります。福島第一原子力発電所がある大熊町を訪問して、一般社団法人大熊未来塾による案内のもと、そこにどのような暮らしがあったのかを学び、それを失ったことの意味についてともに考えましょう。出発地は、いわき湯本温泉にある「古滝屋」さん(福島県いわき市常磐湯本町三函208)です。ぜひ、いわき湯本周辺に宿泊していただき、「古滝屋」さんにある「原子力災害考証館furusato」(観覧無料)もご覧ください。



● 分科会

日付	分科会・タイトル	担当委員	ゲスト	紹介文
12/17 (日)	[教育分科会] 原発事故を教えることをめぐる困難の〈現在〉に向き合う	<ul style="list-style-type: none"> 川尻剛士(山口大学) 小泉初恵(一般財団法人水俣病センター相思社) 後藤忍(福島大学) 斎藤毅(福島大学) 筑波匡介(福島県立博物館) 	<ul style="list-style-type: none"> 前嶋匠さん(東大寺学園中・高等学校) 渡部純さん(福島県立福島東高等学校) 押部逸哉さん(福島県教職員組合・放射線教育対策委員会) 木村紀夫さん(大熊未来塾) 	原発事故から12年以上が経過し、福島で公害教育に取り組む/取り組もうとする教師たちは、原発事故に関する政治状況や社会的関心の変化に伴う今日的な困難に直面しています。本分科会では、まず、研究者と現場教師の双方からこの困難の〈現在〉についてご報告いただきます。その上で、公害資料館の立場から「連携」のあり方等に関する論点を提起していただき、参加者全体で議論を深めます。
	[資料分科会] 災いの資料を未来づくりに—福島と尼崎での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 内山大介(淑徳大学) 小田康徳(西淀川・公害と環境資料館) 清水善仁(中央大学) 蜂谷紀之(元国立水俣病総合研究センター) 平野泉(立教大学共生社会研究センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸真之さん(東日本大震災・原子力災害伝承館) 河野未央さん(尼崎市立歴史博物館) 松本望さん(尼崎市立歴史博物館) 	公害、震災、原発事故のような、私たちの暮らしを脅かす災いの記憶を伝えるものの一つに資料がありますが、それは経験を活かした未来づくりにどれほど役立っているのでしょうか。この分科会では、公害および震災・原発に関する資料の収集・整理・保存・公開について、2つの館に取り組みをお話いただき、「災害を伝え、未来をつくる」ために資料を使ってできることを考えます。

● ランチミーティング

12/17 (日) 津島原発訴訟の原告団長、今野秀則さんのお話を聞きます。

連絡先

- 公害資料館ネットワーク事務局／実行委員会事務局
〒712-8033 岡山県倉敷市水島東栄町11-12 公益財団法人水島地域環境再生財団(みずしま財団)
TEL:086-440-0121 FAX:086-446-4620 kougashiryokan@gmail.com
- 実行委員会現地事務局 藤原遥(福島大学)



申し込みQRコード

FAXでお申込みの場合は、086-446-4620 までお送りください

〈締め切り 12月10日(日)〉

氏名	(ふりがな)	TEL	FAX
所属		メールアドレス	
住所	〒		

参加を希望されるものに <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。	16日 (土)	<input type="checkbox"/> 現地見学(参加費別途5,000円、先着受付) <input type="checkbox"/> 基調講演 <input type="checkbox"/> 交流会(参加費別途3,000円、先着受付)	公害資料館連携フォーラムに参加したことがありますか？ (当てはまるものに <input checked="" type="checkbox"/> を)	<input type="checkbox"/> 今回が初めて <input type="checkbox"/> これまで1~2回参加したことがある <input type="checkbox"/> これまで3回以上参加したことがある
	17日 (日)	<input type="checkbox"/> 分科会 \longrightarrow 希望分科会に○を (教育・資料) <input type="checkbox"/> ランチミーティング <input type="checkbox"/> 全体会		

※個人情報は公害資料館ネットワークにて厳重に管理し、イベントの連絡以外の目的では使用いたしません。